

## 發 刊 の 辭

藥學が人類の福祉の根本を培う上に極めて重大な使命を持つことは言うまでもない。従つてこれが研究とその應用の振興を策するのは我々の果さねばならない責務である。

本學の前身は岐阜藥學專門學校であつて、昭和7年に開校され、爾來十數年の長きに亘つて中部日本の藥學の殿堂として我國の藥品工業、あるいは國民の保健衛生の面において尠くない貢獻をなして來た。而して昭和23年に新學制の實施と共に本校も亦新制大學として新たな發足を見るに至つたのである。

今や學内の研究施設は漸く整備充實し、研究成果も次第に多きを加えつゝあるので業績發表の計畫が熟し、茲に岐阜藥科大學紀要第1號を發刊し、同學の諸賢の御批判を仰ぐことになつた。本研究報告は毎年1回提供の豫定であるが、將來は學内研究の進展と共に一層内容の充實を期したいと思つている。

昭和26年3月

學長 宮 道 悅 男